



沖縄の特産資源等を活かした地域産業活性化

アグリ技術シーズセミナーは、農林水産・食品産業分野で、新たな産学官連携を推進するため、最新の研究情報の発信を行うセミナーです。

今回は「沖縄の特産資源等を活かした地域産業活性化」をテーマとして、沖縄県の産学官の研究機関から、最新の技術シーズを御紹介します。

なお、セミナー当日は、特別講演において、技術シーズの事業化へのプロセス等について御紹介し、セミナー終了後には、技術シーズの発表者やコーディネーターとの個別相談会を開催します。

参加費は無料です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時： 平成25年1月10日(木) 13:45～17:00

会場： 沖縄県立博物館 講座室(沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号)

参加費： 無料(個別相談会も無料)

配布資料の準備の都合上、参加希望の方は1月7日(月)までに事務局までお申し込み下さい。
なお、会場に余裕がある場合に限り、当日連絡なしでのご入場も可能です。

主催： (社)農林水産・食品産業技術振興協会、農林水産省

共催： 沖縄農業研究会

プログラム

【挨拶】 (社)農林水産・食品産業技術振興協会 13:45～13:50

【特別講演】

「食や農をととした地域活性化における技術シーズの事業化プロセス」 13:50～14:35
長谷川潤一氏 ((社)食品需給研究センター 調査研究部 主任研究員)

【シーズ紹介】

1)「葉野菜利用も可能な焼き芋向き新品種「沖育01-1-7(カンタ)」の育成と展開」 14:35～15:00
大見のり子氏 (沖縄県農業研究センター 作物班 主任研究員)

2)「スターフルーツ品種導入と栽培技術確立に関する研究と普及」 15:00～15:25
松村まさと氏 (沖縄県立農業大学校 助教授)

3)「オキナワモズクを原料とする凝集剤の開発」 15:30～15:55
小西 照子氏 (琉球大学 農学部 生物資源学科 准教授)

4)「沖縄県における発酵食品の基盤研究から商品開発への取り組み」 15:55～16:20
塚原 正俊氏 (株式会社バイオジェット 代表取締役 研究総括)

特別講演、シーズ紹介の概要は裏面をご覧ください。

【農林水産省の競争的研究資金に関する情報提供】 16:20～16:30
(社)農林水産・食品産業技術振興協会

【個別相談会】 16:30～17:00

共同研究形成等に向けた連携相談、技術相談に技術シーズの発表者やコーディネーターが対応致します。

(セミナーにおいて紹介する技術シーズに関するご相談以外にも、農林水産・食品分野の研究に関するご相談全般に対応致します)

【特別講演の概要】

「食や農をととした地域活性化における技術シーズの事業化プロセス」

長谷川潤一氏 ((社)食品需給研究センター 調査研究部 主任研究員)

(講演内容)

食や農を基盤とした地域の活動は、食料産業クラスターや農商工連携から6次産業化までの幅広い施策展開や民間ビジネスとして推進されています。これに対し、技術シーズを利活用することは、これらの展開の効率化や高度化を図るための有効な手段であると考え、より効果的な事業化プロセスに至ることが可能となります(技術の社会実装)。講演では、6次産業化と産学連携を相互に共有しえる領域として俯瞰的に捉え、どのような方法で事業化を目指すのかという点について、地域産学連携支援委託事業において産学官連携コーディネーションマニュアルの取りまとめやコーディネーション事例の調査・分析を行ってきた経験に基づき、モデル事例の紹介を踏まえ解説を行います。

【シーズ紹介の概要】

「葉野菜利用も可能な焼き芋向き新品種『沖育01-1-7(カンタ)』の育成と展開」 大見のり子氏 (沖縄県農業研究センター)

(発表内容)

沖縄県では、多収で外観や食味が良い焼き芋に適した品種を育成した。この品種は芋だけでなく伝統野菜であるカンダパーとしての利用も期待できる。そこで、多様な活用への展開を図るため、品種特性等を紹介する。

(マッチングの方向性)

共同研究相手を見つけない
シーズを製品化する相手を見つけない

(マッチングを想定する対象)

共同研究機関 製造業(食品製造業等)

「スターフルーツ品種導入と栽培技術確立に関する研究と普及」

松村まさと氏 (沖縄県立農業大学校)

(発表内容)

沖縄県では観光客の増加により熱帯果実の周年供給が必要とされているが、秋から春にかけて熱帯果実の出荷額が少ない。そんな中、果実断面が星形という独特な形をしたスターフルーツはこの時期に収穫可能であるため有望である。そこで、従来の酸味系品種に代わる優良品種を選定するため、海外から新規品種を導入し、甘味系の3品種を選定した。また、スターフルーツの仕立て方は、一般的に棚仕立てで行われているが、首、肩、腕への負担が大きくなるため、作業負担が軽い「トリス垣根仕立て法」を開発した。

(マッチングの方向性)

技術移転先を見つけない

(マッチングを想定する対象)

農林漁業関係者

「オキナワモズクを原料とする凝集剤の開発」 小西 照子氏 (琉球大学 農学部)

(発表内容)

オキナワモズクを原料とする水処理凝集剤を開発した。開発した凝集剤は天然物由来であり、安全な凝集剤である。これまでに浄水場の原水、沖縄県北部における赤土濁水等に対して良好な結果を得ている。

(マッチングの方向性)

共同研究相手を見つけない
技術移転先を見つけない

(マッチングを想定する対象)

共同研究機関 商社

「沖縄県における発酵食品の基盤研究から商品開発への取り組み」

塚原 正俊氏 ((株)バイオジェット)

(発表内容)

気候、地理、文化、政治背景など、国内で特異な立場の「沖縄」。この地で個々の施策を成果に結び付けるには重視する点が複数ある。当社では、研究がほとんど行われてこなかった沖縄の伝統的発酵食品の基盤研究・商品開発を通じて産業界振興に挑戦し、泡盛醸造において古酒香に注目した優良菌株の選抜に成功したので紹介する。

(マッチングの方向性)

共同研究相手を見つけない
シーズを製品化する相手を見つけない
研究のための資金提供元を見つけない

(マッチングを想定する対象)

共同研究機関 製造業(食品、化学、環境、エネルギー)
農林漁業関係者 商社 情報・IT関係者

地域産学連携支援委託事業とは？

農林水産省が、農林水産・食品分野において産学連携による研究活動を活性化するため平成22年度より開始した事業です。全国に農林水産・食品産業分野の高度な専門知識を有する「コーディネーター」を配置し、研究計画の作成等、様々な支援を行っています。事業の概要や相談窓口は、ホームページ「<http://agri-renkei.jp/>」をご覧ください。

【事務局】

(社)農林水産・食品産業技術振興協会
イノベーション事業部 佐藤・川畑・明石
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル7階
TEL:03-3586-8644, FAX:03-3586-8277,
E-mail:renkei-seminar@jataff.jp

平成 24 年度地域産学連携支援委託事業 アグリ技術シーズセミナー in 沖縄 (1/10 開催)
沖縄の特産資源等を活かした地域産業活性化
会場「沖縄県立博物館」案内図



住 所：沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号
T E L：098-941-8200
交 通：沖縄モノレールおもろまち駅 下車徒歩10分

平成 24 年度地域産学連携支援委託事業 アグリ技術シーズセミナー in 沖縄 (1/10 開催)
沖縄の特産資源等を活かした地域産業活性化
参加申込書

宛先：(社)農林水産・食品産業技術振興協会 イノベーション事業部
E-mail：renkei-seminar@jataff.jp 又は FAX：03-3586-8277
(E-mail の場合、必要事項をテキスト入力頂ければ結構です。)

氏 名： _____

勤務先： _____

部署・役職： _____

住 所：〒 _____

T E L： _____ F A X： _____

E-Mail： _____

個別相談会希望： () (希望される方は 印をご記入下さい)

個別相談内容 (個別相談会へ参加を希望される方は簡潔かつできるだけ具体的にご記入下さい)：

申込書の取り扱いは本セミナー実施に係る業務にのみ限定し、目的以外には使用致しません。